



2019年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 IMV株式会社
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 淳平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 濱里 一也
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	8,092	7.7	372	21.6	329	28.2	262	7.5
2018年9月期第3四半期	7,516	2.4	475	42.7	458	54.3	283	59.9

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 252百万円 (12.0%) 2018年9月期第3四半期 287百万円 (58.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	16.16	
2018年9月期第3四半期	17.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	15,777	6,528	40.6
2018年9月期	15,356	6,407	40.7

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 6,410百万円 2018年9月期 6,256百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期の連結財政状態については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		8.00	8.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	8.6	1,200	39.8	1,200	30.7	780	34.9	48.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	16,957,016 株	2018年9月期	16,957,016 株
期末自己株式数	2019年9月期3Q	735,798 株	2018年9月期	735,598 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	16,221,339 株	2018年9月期3Q	16,220,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自動車生産量の増加や設備投資の底堅い推移がありましたものの、消費・投資ともに力強さが戻らず、景気動向としましては横ばい傾向が続きました。一方、海外経済におきましては中東情勢が悪化したほか、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速を受けて世界経済及び金融市場への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いています。しかしながら、日米の自動車業界において、大手メーカーが自動運転車の安全基準策定に向けたコンソーシアムを設立して企業の枠を超えた連携が促進されるなど、全世界レベルでCASE (Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric) と表現される新たなテクノロジー及びモビリティに向けた活動が活性化しています。

このような環境の中、当社グループは、主力である振動シミュレーションシステムの販売のみならず、テスト&ソリューションサービスにおきましても日本高度信頼性評価試験センター (e-TCJ) や春日井テストラボといった新たな受託試験センターを稼働開始し、増加する需要の取り込みを進めてまいりました。また、メジャリングシステムにおきましては、振動ピックアップ新製品「VP-8021A」を発表し、業界トップクラスの高周波振動計測技術と最新の高周波振動センサ技術を組み合わせることでIoT時代に対応するとともに、価格性能比に優れた製品とすることで市場のニーズに応えるべく2019年9月の量産開始へ向けて着実に準備を進めております。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同四半期を7.7%上回る8,092百万円となりました。利益面では新拠点の創設や新たな環境試験の開始等に備えて採用を拡大させた結果、人件費が増加しており、さらにヨーロッパ及びアメリカ向け債権に対する円高による為替差損等に伴い、経常利益は329百万円 (対前年同四半期比28.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円 (対前年同四半期比7.5%減) となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

国内市場において、お客様に好評価をいただいている恒温槽と、全自動省エネ運転が可能な振動試験装置 (EMシリーズ) を組み合わせた複合試験装置が堅調に推移し、自動車メーカー、車載機器業界、航空宇宙業界及び公設試験研究機関を中心に複合試験装置の売上が伸長しました。さらに、電機電子業界向けにおいても大型多軸振動試験装置や小型振動試験装置の売上が計上されました。

海外市場においては、電気自動車関連の試験需要が旺盛であり、欧州、米国及び中国向けに大型の振動シミュレーションシステムの売上が計上されるとともに、東南アジアではエコ仕様の振動シミュレーションシステムの売上が増加しました。

以上の結果、この品目の売上高は5,749百万円 (対前年同四半期比6.2%増) となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

試験対象品の大型化を受け、上野原高度試験センターにおける大型機による試験が伸長いたしました。これに加えて、昨年12月の日本高度信頼性評価試験センター (e-TCJ) に続き、本年1月には春日井ラボ (愛知県春日井市) が稼働を開始しており、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は1,521百万円 (対前年同四半期比25.5%増) となりました。

(メジャリングシステム)

国内市場において、電力会社や製造プラント向け大型振動監視装置の売上が増加したことに加えて、フィリピンを中心とした海外市場における地震計売上も好調ではありましたがものの振動計測器の売上が伸び悩み、この品目の売上高は820百万円 (対前年同四半期比7.5%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ420百万円増加し、15,777百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ267百万円増加し、9,197百万円となりました。この主な要因は、仕掛品の増加419百万円、電子記録債権の増加739百万円と受取手形及び売掛金の減少1,287百万円があったことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ153百万円増加し、6,579百万円となりました。この主な要因は、工具器具備品の増加324百万円と建設仮勘定の減少154百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ300百万円増加し、9,248百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ301百万円増加し、7,540百万円となりました。この主な要因は、短期入金金の増加130百万円と電子記録債務の増加108百万円があったことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ1百万円減少し、1,707百万円となりました。この主な要因は、長期借入金金の増加28百万円と株式報酬引当金の減少23百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ120百万円増加し、6,528百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加132百万円によるものであります。自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.1ポイント減少し40.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日の「平成30年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,672,116	1,862,474
受取手形及び売掛金	4,091,387	2,803,830
電子記録債権	256,647	996,434
製品	252,559	536,695
仕掛品	1,565,558	1,985,531
原材料	767,244	794,853
その他	332,720	225,799
貸倒引当金	△8,613	△8,203
流動資産合計	8,929,622	9,197,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,504,102	2,550,261
土地	1,944,323	1,935,656
その他(純額)	1,064,643	1,220,642
有形固定資産合計	5,513,069	5,706,560
無形固定資産		
のれん	303,685	252,301
その他	61,808	68,901
無形固定資産合計	365,494	321,202
投資その他の資産	547,958	551,890
固定資産合計	6,426,522	6,579,652
資産合計	15,356,145	15,777,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,725,076	1,736,637
電子記録債務	960,455	1,069,362
短期借入金	2,870,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	381,572	361,404
未払金	436,410	399,106
未払費用	326,728	324,054
未払法人税等	108,524	64,893
未払消費税等	14,250	9,507
製品保証引当金	90,000	81,000
株式報酬引当金	—	35,671
その他	326,442	459,061
流動負債合計	7,239,460	7,540,696
固定負債		
長期借入金	1,332,550	1,361,497
長期末払金	192,169	192,169
資産除去債務	48,408	46,773
株式報酬引当金	23,576	—
その他	112,302	107,461
固定負債合計	1,709,006	1,707,902
負債合計	8,948,467	9,248,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	563,437	563,437
利益剰余金	5,308,745	5,441,137
自己株式	△159,282	△159,282
株主資本合計	6,177,717	6,310,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,253	92,068
為替換算調整勘定	△13,433	8,238
その他の包括利益累計額合計	78,820	100,307
非支配株主持分	151,139	118,053
純資産合計	6,407,677	6,528,469
負債純資産合計	15,356,145	15,777,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,516,400	8,092,204
売上原価	5,044,654	5,716,916
売上総利益	2,471,746	2,375,287
販売費及び一般管理費	1,995,839	2,002,362
営業利益	475,906	372,925
営業外収益		
受取利息	297	541
受取配当金	2,960	3,481
受取賃貸料	31,415	31,371
受取保険金	—	30,529
雑収入	17,312	23,019
営業外収益合計	51,984	88,943
営業外費用		
支払利息	12,609	14,215
為替差損	50,362	106,271
雑損失	6,183	11,956
営業外費用合計	69,156	132,442
経常利益	458,735	329,426
特別利益		
受取保険金	—	55,133
投資有価証券売却益	—	4,417
固定資産売却益	—	2,368
特別利益合計	—	61,919
特別損失		
固定資産除却損	144	355
特別損失合計	144	355
税金等調整前四半期純利益	458,590	390,991
法人税、住民税及び事業税	150,316	173,283
法人税等調整額	10,864	△22,265
法人税等合計	161,180	151,018
四半期純利益	297,410	239,973
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,937	△22,189
親会社株主に帰属する四半期純利益	283,473	262,163

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	297,410	239,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,953	△185
為替換算調整勘定	△5,224	12,941
その他の包括利益合計	△10,177	12,756
四半期包括利益	287,232	252,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,716	283,650
非支配株主に係る四半期包括利益	7,516	△30,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	5,610,297	72.8	5,926,994	71.4	105.6
テスト&ソリューションサービス	1,208,157	15.7	1,523,823	18.4	126.1
メジャリングシステム	888,644	11.5	849,987	10.2	95.6
計	7,707,100	100.0	8,300,805	100.0	107.7

(受注高実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	6,810,559	76.2	5,965,329	69.7	87.6
テスト&ソリューションサービス	1,256,307	14.1	1,694,625	19.8	134.9
メジャリングシステム	870,253	9.7	904,035	10.5	103.9
計	8,937,120	100.0	8,563,989	100.0	95.8

(受注残高)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	4,213,747	88.8	4,214,570	86.3	100.0
テスト&ソリューションサービス	218,498	4.6	349,927	7.2	160.2
メジャリングシステム	310,785	6.6	320,156	6.5	103.0
計	4,743,031	100.0	4,884,654	100.0	103.0

(販売実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	5,416,196	72.1	5,749,897	71.1	106.2
テスト&ソリューションサービス	1,212,842	16.1	1,521,547	18.8	125.5
メジャリングシステム	887,362	11.8	820,759	10.1	92.5
計	7,516,400	100.0	8,092,204	100.0	107.7